



左から町田市町内会・自治会連合会 中一登会長代行・安達廣美会長・横川弘子さん



リニューアルしたホームページ



「地域のつながり」について語る安達会長

町田市町内会・自治会連合会



地域のつながりも「新しい日常」へ

新型コロナウイルスの影響により、これまでの「日常」が大きく変わった。目には見えない敵とともに生活する「With コロナ時代」を迎え、情報の共有方法や防災の在り方など、町内会・自治会も新しい生活様式への対応が求められている。

市内にある町内会・自治会の役割は、街路灯やゴミ捨て場の管理をはじめ、防犯、交通対策、子どもや高齢者の見守り事業など多岐にわたる。そのどれもが地域社会や生活に欠かせないもの。各地域から寄せられる情報を取りまとめ、行政や民間団体とのパイプ役となりながら、課題解決のサポートをするのが「町田市町内会・自治会連合会（略称・市連／安達廣美会長）」だ。

市連は昨年、ホームページを大幅にリニューアル。若い世代にも地域に関心を寄せてもらえるよう、地域のイベント情報掲載の充実や、デザインもスタイリッシュにした。コロナ禍では感染拡大防止の観点から、閲覧板を回せないという事態が起こり、非接触で情報周知ができるホームページの有用性が増した。市連の安達廣美会長は「改めてホームページを含めウェブ媒体の重要性を考え

させられる機会になった。各地域における暮らしに必要な多くの情報を、今後は迅速に掲載していきたい」と先を見据える。

また、人との間隔を2m以上空けるソーシャルディスタンスが提唱され、いつ起こりうるか分からない災害においても、今後は3密を避ける形となる。避難所の収容人数も削減が避けられず、町内会・自治会は、避難所運営や防災備蓄などについて見直すことになる。すでに非接触型の体温計や消毒液などの感染予防品を導入する動きもあるという。

コロナ問題だけでなく、町内会・自治会加入率の減少や、高齢化する役員の後継者不足など、市連における課題は少なくない。安達会長は「社会を取り巻く環境が大きく変わっていても、町内会・自治会はいつでも地域活動の中心であり、市民の暮らしの中で大きな使命を任されている。様々な活動を通じて、自助・共助・「近所」の大切さを根気よく市民に伝え、生活に密着する一つひとつの課題解決に着実に取り組んでいく」と話している。

■加入に関する問い合わせ
042-722-4262
<https://machida-shiren.com>

まちだ地域国際交流協会 (MIFA)

町田で結ぶ国際交流の架け橋

まちだ地域国際交流協会（黄川田南会長）が、1993年から開催している日本語教室。「地域貢献のため、日本語さえ話せれば活動できる」「海外で外国人に親切にしてもらった恩返しをしたい」。そんな思いをもつボランティア会員のもと、町田市民フォーラムの一室で草の根の国際交流が育まれている。

外国人に接する活動とはいえ、外国語のスキルは不要。ボランティア登録を希望する人は事前に養成講座を受講し、専門講師から日本語学習の支援方法を学ぶ。登録者数は130人。仕事をリタイアした、あるいは子育てがひと段落したタイミングで地域のために時間を使おうと活動を始める人が大半だ。

一方の「学習者」は150人。インド人の51人を筆頭に、中国人、ベトナム人と続き、実に20カ国もの外国人が登録している。その年齢層は20〜30代が中心で、多くの支援者にとっては我が子より若い年代。支援にあたる松崎園夫さんは、「日本語を教える代わりにスマホの使い方を習うこともある」と嬉しそうに話すなど、国境を越えた世代間交流も活動の醍醐味のひとつという。

黄川田さんの楽しみは、支援者と学習者がフリーテーマで会話する時間。実践的な日本語を学ぶことが目的だが、そこで聞く異文化の話題に知的好奇心がくすぐられる。IT業界出身の根っからの理系で、「韓国の床下暖房の話は興味深かった。旅行ガイドブックに載っていない庶民の暮らしの様子など、多くの知識を吸収できる」。教えながら学べる――。そんな魅力がある活動だ。

一方、外国人も教室に通う目的は日本語を学ぶだけではないようだ。学習者には若いママも多く、97年から活動する早田紀子さんは、ママ友との付き合い方や、小学校で配布されたプリントについて聞かれることがあるという。子育ては不安や悩みがつきものだが、「異国の地となればなおさら。生活に関する相談には、主婦の経験が生かせる」。こうした背景から、同会では子連れで参加できる親子教室も開催している。

スピーチ大会や遠足など課外活動も盛ん。定員オーバーで「待機学習者」がでるほど人気の教室が、外国人にも住みやすい地域づくりに一役買っている。
■入会に関する問い合わせ
<http://mifa-machida.info>



課外活動のひとつ「書道体験」



学習成果を発表するスピーチ大会



習得度に応じたマンツーマンの支援



左から松崎さん、黄川田会長、早田さん